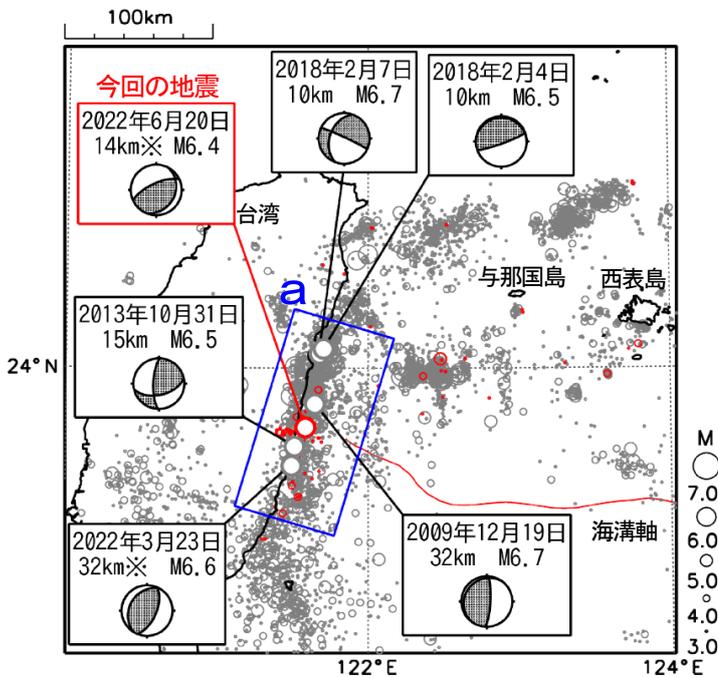


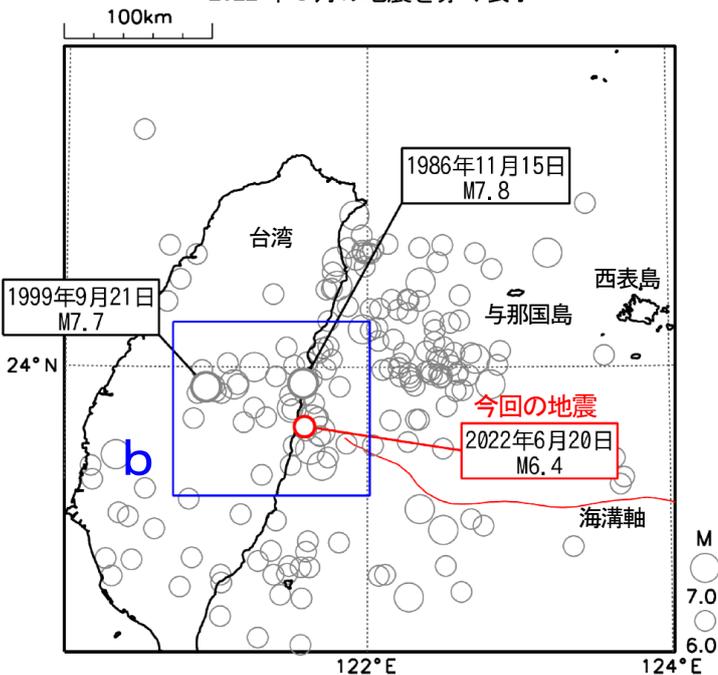
# 6月20日 台湾付近の地震

震央分布図  
(2009年9月1日～2022年6月30日、  
深さ0～50km、 $M \geq 3.0$ )  
2022年6月の地震を赤く表示  
図中の発震機構はCMT解



※の付いた地震の深さはCMT解による

震央分布図 ※  
(1919年1月1日～2022年6月30日、  
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$ )  
2022年6月の地震を赤く表示

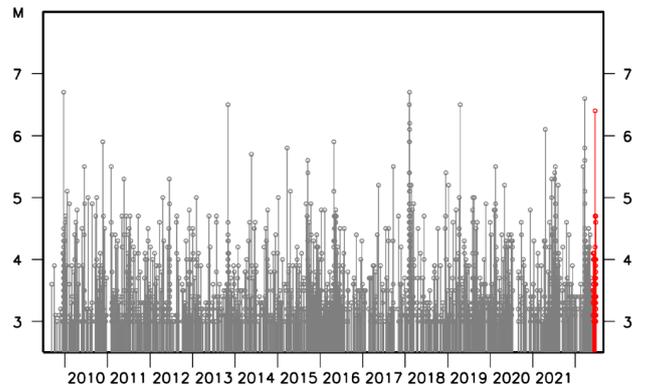


1986年11月15日の地震の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による。その他の震源要素は気象庁による。

2022年6月20日10時05分に台湾付近の深さ14km (CMT解による) でM6.4の地震 (国内で震度1以上を観測した地点はなし) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は、北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

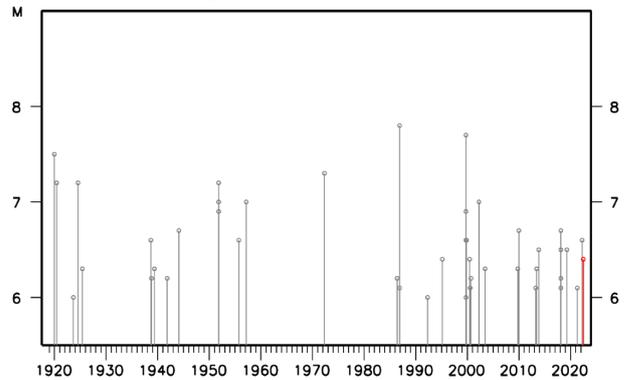
2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央付近 (領域a) では、M6.0以上の地震が時々発生しており、2009年12月19日にはM6.7の地震 (国内で観測された最大の揺れは震度3) が発生した。

領域a内のM-T図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、過去にM7.0以上の地震が時々発生している。1986年11月15日にはM7.8の地震 (国内で観測された最大の揺れは震度3) により、台湾では死者13人、負傷者45人の被害があった。この地震により、宮古島平良で30cmの津波を観測した。また、1999年9月21日にM7.7の集集地震 (国内で観測された最大の揺れは震度2) が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人の被害があった (被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による)。

領域b内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)